

設置マニュアル



オプションボード

MultiSync M シリーズ、P シリーズ、MA シリーズ




安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。







 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

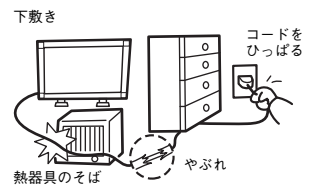
図記号の意味は次のとおりです。

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



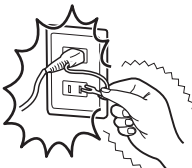




●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

⚠ 警告

1	 プラグを抜く	<p>故障したときは電源プラグを抜く</p> <p>本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、本機を落としたりキャビネットを破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけでなく、視力障害の原因になります。</p> <p>販売店に修理をご依頼ください。</p> <p>お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
2	  分解禁止  修理・改造禁止	<p>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。</p> <p>修理の場合は販売店へお問い合わせください。</p>
3	 使用禁止	<p>ぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない</p> <p>本機が転倒してけがの原因となることがあります。</p> <p>お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。</p>
4	 傷つけ禁止	<p>電源コードを傷つけない</p> <p>電源コードは大切に取り扱いってください。</p> <p>コードが破損すると、火災・感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの上に重い物をのせない ・コードを本機の下敷きにしない ・コードの上を敷物などで覆わない ・コードを傷つけない、加工しない ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ・コードを加熱しない <p>電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。</p>
5	 接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない</p> <p>雷が鳴り出したら電源コードなどには触れないでください。感電の原因となります。</p>
6	 禁止	<p>添付されているもの以外の電源コードは使用しない</p> <p>本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。</p>



警告

7	 指示	<p>正しい電源電圧で使用する</p> <p>日本国内専用です。</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。</p> <p>一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100 V以外で使用しないでください。</p>	
8	 禁止	<p>アース線を挿入・接触しない</p> <p>電源コードのアース線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。</p>	
9	 指示	<p>据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する</p> <p>工事が不完全ですと重大事故の原因となります。</p>	
10	 設置禁止  禁止  屋外での 使用禁止	<p>設置するときに気を付けること</p> <p>本機はスタンドなどの取り付け器具なしで設置、運用することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ M491/M551/M651/MA491/MA551/P495/P555：自立スタンドを使用する場合は、床置きしないでください。机などに置いて使用するか、壁掛け金具をご使用ください。 <p>移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数（M431/M491/M551/M651/MA431/MA491/MA551/P435/P495/P555 は必ず 2 人以上、M651 は必ず 4 人以上）でおこなってください。</p> <p>落下してけがの原因となることがあります。</p> <p>市販の取り付け器具を使用する際は、器具の取扱説明書を参照し、取り付け、取り外し方法の詳細を確認してください。</p> <p>布などで通風口をふさがないでください。</p> <p>風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 換気の悪い場所 ・ 直射日光や熱器具のそば ・ 振動の多い所 ・ 湿気、ほこり、湯煙、湯気の当たる所 ・ 屋外 ・ 温度、湿度が急激に変化し結露がしやすい環境 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。 そのまま使用すると故障の原因となることがあります。 ・ 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない場所 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取り付けてください。 強度が不十分なところに設置すると、落下して重大事項の原因となることがあります。 ・ 人が容易にぶら下がったり、寄りかけられるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所。 <p>上下逆さまに設置しないでください。</p>	



警告



使用禁止

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなう

取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。

- ・ 丈夫なロープを用いて本機を固定する
固定には本機またはスタンドに付属のクランプとネジ（M4）で本機にしっかりと締め付けてください。スタンドによってはスタンド側に転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。
- ・ 本機を十分保持できる壁や柱などに、しっかりと固定する。
- ・ ロープは本機の重さに耐えられる丈夫なものを使用する。
- ・ 本機を移動する場合は、事前にロープを取り外す。

落下すると重大事故の原因となることがあります。

- ・ 落下防止用ワイヤーのみでの壁掛け設置・天吊り設置は絶対におこなわないでください。
- ・ 建物や構造物の丈夫な箇所と本機の所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続してください。
- ・ 市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用ください。
- ・ 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置してください。

安定性と危険について







本機が落下すると重大事故の原因となる恐れがあります。けがなどの危害を軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。

特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。

- ・ 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付けてください。
- ・ 本機を安全に支えることができる家具に設置してください。
- ・ 本機がはみださない大きさの家具に設置してください。
- ・ 本機にさわろうとして設置している家具に登ったりすると危険であることをお子様に説明してください。
- ・ 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線してください。
- ・ 本機を不安定な場所に設置しないでください。
- ・ 本機を背の高い家具に設置する場合は、本機と家具、家具と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定してください。
- ・ 本機の下に布などを敷かないでください。
- ・ 本機や設置している家具の上にお子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かないでください。

設置場所を変える場合は、上記をふまえ設置してください。







 **警告**

12	 禁止	傾斜面や不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
13	 禁止 	異物をいれない 火災・感電の原因となります。 特にお子様にご注意ください。
14	 水ぬれ禁止	水のかかるところに置かない 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。
15	 禁止	清掃時に気を付けること 付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 火災の原因となります。
16	 禁止	オプションボードをしっかり固定する オプションボードは取り外したネジを使用し、しっかりと固定してください。固定せずに使用すると、落下して重大事故の原因となります。

⚠ 注意

<p>1</p>  <p>プラグを持つ</p>  <p>プラグを抜く</p>  <p>しっかり差し込む</p>  <p>ぬれ手禁止</p>  <p>禁止</p>  <p>ほこりを取る</p>  <p>アース線を接続せよ</p>	<p>電源コードは注意して取り扱う</p> <p>電源コードが破損すると、火災・感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを奥までさしこむ 電源コードが容易に抜けるのを防止する 電源コードを本機付属のクランプとネジで固定してください（締付トルク 120 ~ 190 N・cm） ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 電源コードの抜き差しはプラグ部分を持っておこなう お手入れの際は電源プラグを抜く 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く 電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない 長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く 機器のアース線は確実に接続する <p>本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。</p>      
<p>2</p>  <p>禁止</p>	<p>電源コードおよび USB ケーブルは束ねず（丸めず）使用する</p> <p>ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。</p>
<p>3</p>  <p>設置禁止</p>	<p>過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない</p> <p>本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。</p>
<p>4</p>  <p>禁止</p>	<p>本機を設置している台には乗らない</p> <p>置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p>
<p>5</p>  <p>ケガに注意</p>  <p>手の挟みこみに注意</p>	<p>スタンドの取り付けや高さを調節する場合</p> <p>スタンド取り付け時、本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。</p> <p>高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。誤った位置に本機を固定すると転倒してけがの原因となる恐れがあります。</p>

⚠ 注意

6	 禁止	<p>本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がらない 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。</p>
7	 禁止	<p>液晶パネルに衝撃を加えない 破損してけがや故障の原因となることがあります。</p>
8	 禁止	<p>乾電池は適切に取り扱う 乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂によるけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる • 乾電池は種類によって特性が異なるため、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない • 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない 新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。 • 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す 液がもれて故障の原因となるおそれがあります。 また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。 • 乾電池を焼却、加熱、器具での押しつぶし、切断をすると、破裂の恐れがあります。 • 高温になる場所や気圧の低い場所に放置すると、破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。 • 乾電池を廃棄する際は、販売店、または自治体に問い合わせてください。
9	 指示	<p>適度な明るさの環境で使用する 画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。</p>
10	 通気口の掃除	<p>キャビネットの通気口を掃除する キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。1年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。 特に冷却ファンを動作させて使用する場合は、通気口にごみやほこりが付着しやすくなりますので、月に一度以上は、通気口を掃除してください。</p>
11	 内部掃除	<p>1年に一度は内部掃除を 内部にほこりがたまったまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>

MultiSync は NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
Intel および Intel ロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

オプションを使用する場合

インテル® スマート・ディスプレイ・モジュール・スモール (インテル® SDM-S) とインテル® スマート・ディスプレイ・モジュール・ラージ (インテル® SDM-L) の仕様に対応した市販のオプションボードが装着できます。

お知らせ

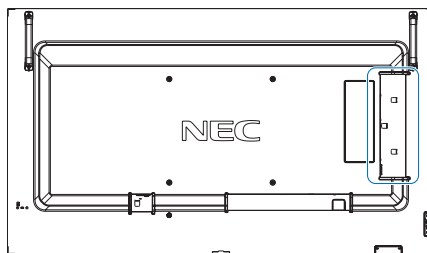
対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

1. 本機の主電源を切ってください。
2. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷き、その上にディスプレイを置きます。

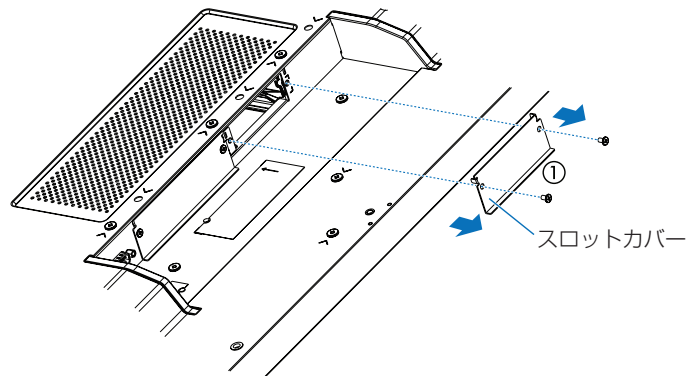
お願い

必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。

3. スロットカバーを取り外してください。



インテル® SDM-S を取り付ける場合：
スロットカバー①を取り外してください。



インテル® SDM-L を取り付ける場合：
スロットカバー①および②を取り外してください (図 1)。

センターレールを右にずらして取り外してください。再度取り付ける場合は、逆の順序で行います (図 1-1)。

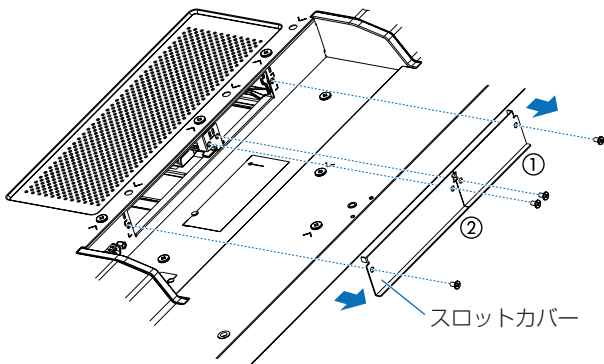


図 1

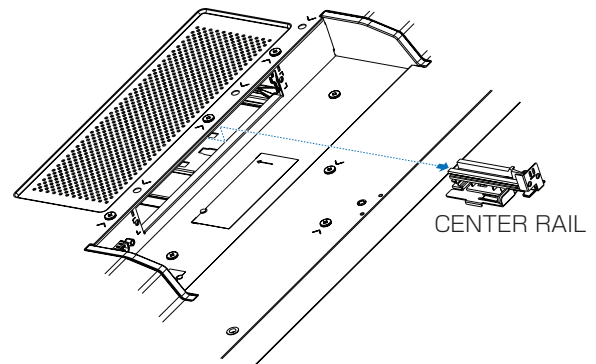


図 1-1

4. オプションボードをセットします。

5. オプションボードを取り外したネジで固定します (図 2)。(締付トルク：50～80 N・cm)

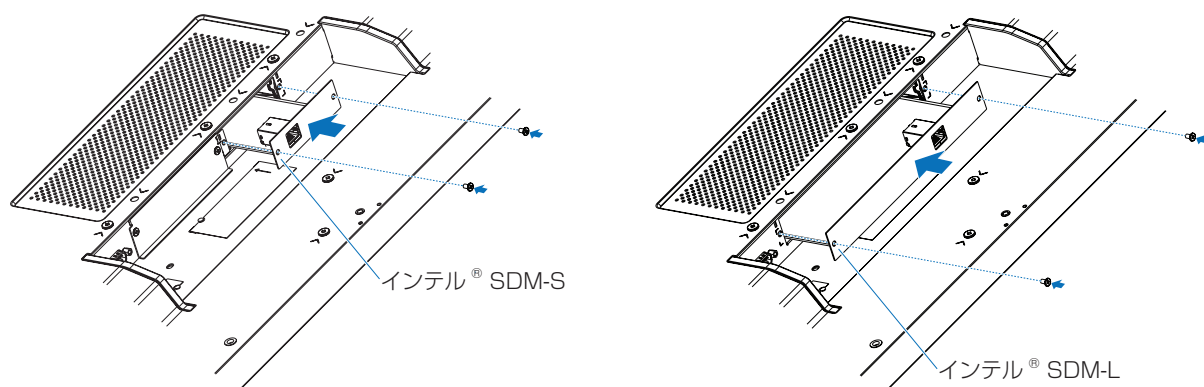


図 2

お願い

- オプションボードをネジで固定する前に、オプションボードに無理な力を加えて 前後左右に動かさないでください。故障の原因となります。
- オプションボードの上下を確認してから、オプションボードをセットしてください。

警告 警告 16 を参照ください。